

國學院大學学術情報リポジトリ

明治初期の出版流通ルート考：
江戸期からの継承と相違点

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大和, 博幸 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00000836

明治初期の出版流通ルート考

—— 江戸期からの継承と相違点 ——

大 和 博 幸

キーワード

明治初期地方出版流通 旧三都本屋と地方本屋 旧三都発兌本屋（大取次）
地方取次中核本屋（中取次） 地方取次本屋（小取次）

1 はじめに

政情不安が影響し明治改元後暫くの間版行数は伸びなかったが、明治5（1872）年の学制公布以降全府県に設置された小学校での教科書を始めとする教育関連書の需要増加や、国が進める文明開化策が追い風となり書籍の版行数は増え続ける⁽¹⁾。明治9（1876）年の版行本を対象に家蔵本をみても、『改正字林玉篇』の下小口に「信濃国／南佐久郡／大沢村／高太（高畠彦太郎）⁽²⁾、『作文必携卷之三』の見返に「埼玉県／第八区／道目村小嶋文敏」⁽³⁾、「小学作文階梯卷之一」の本文末に「東播加東郡／小野／末邨氏／蔵書」⁽⁴⁾などと記す書入本が見いだせる。書入だけで刊行年と入手年を結び付けるのは短絡に過ぎようが、明治初年時には東京・大阪・京都本屋⁽⁵⁾の版行本が地方でも比較的容易に入手できる状況になっていた現れと解釈してよいだろう。本をどのように入手したのだろうか。方法は多様だったろうが⁽⁶⁾、段々と居住地近辺で営業する本屋から入手するのが一般的な方法になったと思われる。

読者層の増加に伴い江戸後期頃から本の販売は出版と共に本屋の重要な営業行為の一つと強く意識されるようになる。そのことは江戸本屋須原屋伊八作成「碁伝記目録」に「左之品いつれの本屋へも差出し置き候間／御もとめ御覧可被下候」⁽⁷⁾、大阪本屋秋田屋太右

衛門作成広告に「三都は申に及ばず諸国の書林へ／出し置候間御手寄之本屋ニ而御求可被下候」⁽⁸⁾、京都本屋菊屋安兵衛作成板行目録に「何方之書林ニ而も御手寄へ仰付御求御覧可被下候」⁽⁹⁾と記す例などを見てもわかるが、三都の主要版元は自店と諸国に散在する読者を繋ぐ役割を果たす「手寄之本屋」＝取次本屋の確保に力を入れるようになり、幕末期迄にはかなりの数の地方取次本屋が確認されている⁽¹⁰⁾。地方本屋を取次として抱え込み流通網の拡大を図ることで販売面を強化するやり方は、改元後の明治初年期になっても継続されている。そのことは、東京本屋和泉屋庄次郎刊『略解古事記』の奥付に「何方の書林へも差出候間御最寄にて御求可被下候」⁽¹¹⁾、大阪書林此村庄助刊『與地誌略字引』収載「新発兌書目」末部に「右之書類諸国書林エ差出し御座候／間御手寄ニて御求可被下候已上」⁽¹²⁾、京都本屋今井喜兵衛刊『農商必要童蒙開化字訓』奥付に「何方の本屋画并紙屋ニても差出し御座候間御手よりにて御求可被下候」⁽¹³⁾と記されている例などからも確認できる。

明治期になると「諸国弘通書肆」・「諸国売弘書林」などと記し、発兌書林と取次関係にある地方本屋を明示した付録を収載する本を見かけるケースが多くなるが、これは江戸期よりも更に本の販売に力を入れるようになってきていたことの現れと思われる。特定の地方取次本屋について言及した論文はある⁽¹⁴⁾が、全府県を俯瞰する視点で旧三都本屋たちが抱える地方取次本屋を網羅的に調査した論文は存在していない。本稿では、明治元(1868)～10(1878)年迄を対象に旧三都本屋を個別の一群として捉えた上で、明治初年期の地方を含む広域流通状況を明らかにするための基礎資料作りを目的とする。

2 旧三都本屋の地方取次箇所

旧三都本屋と取次関係にあった地方箇所を知るために、江戸後期の文政～明治10年迄を対象に調査⁽¹⁵⁾し年別・地域別に纏めた別表を作成した。本表の作成に当たっては、所在箇所の行政管轄記載は明治11(1879)年公布の「郡区町村編成法」⁽¹⁶⁾、府県の配列は『日本十進分類法』⁽¹⁷⁾収録の「地方区分」の順に従うとともに、取次箇所には江戸期に属していた旧国名を付記した。

上記表に従って明治元～10年迄の旧三都本屋の取次地実数と未取次府県を記すと、

東京本屋(総数) 2府1道40県213箇所、(未取次府県) 1府3県(京都府、和歌山県、高知県、沖縄県)

大阪本屋(総数) 2府1道43県146箇所、(未取次府県) 1府10県(青森県、岩手県、秋田県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京府、神奈川県、宮崎県、沖

縄県)

京都本屋（総数） 2府34県94箇所、（未取次府県） 1府1道10県（北海道、青森県、岩手県、秋田県、山形県、群馬県、東京府、神奈川県、鳥取県、愛媛県、宮崎県、沖縄県）

となった。因みに上記中、大坂本屋の内福島県、群馬県、埼玉県、宮崎県の4県、京都本屋の内鳥取県、愛媛県、宮崎県の3県については、江戸期に取次関係のあることが確認できた。

別表 旧三都本屋地方取次箇所一覽

[illegible]

	谷地																	1	1	1
	上山																		1	2
	小出																			1
大阪	(旧羽前国)																			
	山形		1		3														2	
京都	(旧羽前国)																			
	山形		1		4															
福島県	(旧岩代国)																			
江戸・東京	若松			1	4	3			1				1	1	2	5	5			
	福島				1				1		1			1	1	5	4			
	郡山																1	1		
	須賀川																			2
	(旧磐城国)																			
	平					1										1	1	1		
	中村									1								2	2	
	桑折																	1	1	
	保原																	1		
	棚倉																			1
	三春																			1
大阪	(旧岩代国)																			
	若松				3	2			1											
	福島				1				1											
京都	(旧岩代国)																			
	若松					2									1					
関東地方	(旧常陸国)																			
茨城県	水戸		6		1	6			3		1		1		1		3	2		
江戸・東京	土浦											1	1	1	1		2	2		
	太田																2	1		
	水海道																1	1		
	長竿																		1	
	(旧下総国)																			
	龍ヶ崎																		2	
	境																	1	1	
	古河																			1
大阪	(旧常陸国)																			
	水戸		6		1	3			1				1	1						
京都	(旧常陸国)																			
	水戸		6			4			1						1					
	土浦														1					
栃木県	(旧下野国)																			
江戸・東京	宇都宮				1	3		2	1						2	2	3	3		
	栃木				1	1			1	1			1	1	1	3	4			
	佐野					1												1		
	安沢						1													
	足利																2	2		
	大田原																1	1		
	今市																	1		
	上三川								1											1

[illegible]

	布川																	1	1		
	酒詰村																		1		
	布佐																		1		
	流山																		1		
	(旧上総国)																				
	大多喜																1		1		
	東金																1	1	2		
	本納																1	1	1		
	茂原																1	2	2		
	一ノ宮																		1	1	
	木更津																		1	1	
	久留里																		1	1	
	幸田																		1	1	
	佐貫																		1	1	
	堀上村																	1	1	1	
	鶴舞																		1	1	
	松尾																			1	
	(旧安房国)																				
	北条新宿																		1	1	
	吉浜																			1	
大阪	(旧下総国)																				
	佐原				1																
京都	(旧下総国)																				
	佐原																	1			
	(旧上総国)																				
大多喜																		1			
東京府 江戸・東京	(旧武蔵国)																				
	八王子																	2	1		
	青梅																	2			
	大森																	1			
	品川																	1			
	五日市																	1			
	多摩村																	1			
神奈川 江戸・東京	(旧相模国)																				
	小田原																	1	2	2	
	伊勢原																	1	1	1	
	戸塚																	1			
	保土ヶ谷																	1			
	横須賀																	1	1	1	
	浦賀																		1		
	厚木																			1	
	藤沢																			1	
	(旧武蔵国)																				
	横浜																		13	2	5
	神奈川																		1		
	北陸地方 新潟県 江戸・東京	(旧越後国)																			
柏崎		1																1	1	1	
水原			1			2												1		1	2
三条				1	3															4	2

	新潟				1												4	3
	長岡									3		3	3	3	3		5	5
	高田									1		1	1	1			4	2
	片町									1							1	1
	沼垂											1	1	1				
	葛塚													1	1	1	1	1
	白根														1			
	地蔵堂																1	
	加茂																1	1
	大野																1	
	新津																1	1
	小千谷																1	
	小須戸																1	1
	曾根町																1	
	岡野町																	1
	堀ノ内																	1
	中条																	1
	六日町																	1
	見附																	1
	(旧佐渡国)																	
	羽茂													1				
大阪	(旧越後国)																	
	水原		2		1									1				
	三条			1														
	新潟				1													
	沼垂												1	1				
	葛塚													1			1	
	(旧佐渡国)																	
	羽茂													1	1	1		
京都	(旧越後国)																	
	柏崎		1															
	水原			2		1									1			
	新潟					1												
	三条												1	2				
	(旧佐渡国)																	
	羽茂													1				
富山県 江戸・東京	(旧越中国)																	
	富山														2	2	2	2
	高岡																3	1
	福光																1	
大阪	(旧越中国)																	
	富山											1		3			3	
京都	(旧越中国)																	
	富山												4	4				
	高岡												1	2				1
石川県 江戸・東京	(旧加賀国)																	
	金沢			2		3	2		1				8	1		1	2	5
大阪	(旧加賀国)																	
	金沢			4		3	5		1				8	8	3	2	2	1

	大聖寺																1	1				
京都	(旧加賀国)																					
	金沢		4		2	3		1									5	6	2	3	1	
	大聖寺																1					
	(旧能登国)																					
	七尾																	2			1	
福井県	(旧越前国)																					
江戸・東京	福井		1		1												1	1		1	2	
	敦賀																1					
大阪	(旧越前国)																					
	福井		1		1												3	3	3	2	3	
	敦賀																1	2	1	1		
	武生																1	1	1	1	1	
	(旧若狭国)																					
	小浜																1				1	
	河原市																	1				
京都	(旧越前国)																					
	福井		1		1													5	2	2	4	1
	敦賀																	1	3	1	2	
	武生																		2	2		
	(旧若狭国)																					
	高浜																		1	1		
	遠敷																				1	
東山・東海地方 山梨県 江戸・東京	(旧甲斐国)																					
	甲府 (府中)			3	7	1			1								1	1	1	2	2	4
	上野原																				1	1
	勝沼																					1
	日川村																					1
大阪	(旧甲斐国)																					
	甲府 (府中)			2	2	1			1								1	1	1	1	1	1
京都	(旧甲斐国)																					
	甲府 (府中)				2	1												1				
長野県 江戸・東京	(旧信濃国)																					
	長野 (善光寺)			2	7	2			2		1		1	1	2	2	3	3				
	松本			2	5	2			1				1			1	2	4	3			
	上田			1	1				1							1	1	2	3			
	高遠				1																	
	小諸								1		1							2	3	3		
	諏訪													1		1	1	1	2			
	飯田																1	1	1	1		
	諏訪金沢																1	1	1	1		
	飯山																	1	1			
	新町																		1			
	須坂																		1			
	稲荷山																				2	
	白田																			1	1	
	松代																			1	1	
大阪	(旧信濃国)																					
	長野 (善光寺)			1	2	2			2				1	1	1			1	1			

	松本			1	2	1				1				1	1				
	上田			1						1									
	小諸									1									
	飯田														1	1			
京都	(旧信濃国)																		
	長野 (善光寺)			1	1	1									1	2			
	松本			1		1													
	上田			1															
岐阜県 江戸・東京	(旧美濃国)																		
	岐阜			1							1				1	1	2	3	3
	加納									1									
	大垣										1				1	1	1	3	2
	笠松																	1	1
	(旧飛騨国)																		
大阪	高山																2	2	2
	(旧美濃国)																		
	岐阜			1												2	1	2	1
	加納									1									
	大垣													2	2	1	1	1	1
	高田													1	1	2	1		
京都	笠松													1	1				
	(旧美濃国)																		
	岐阜			1											2	3	2	1	1
	加納									1					1				
	大垣														2	2	1	2	1
	高田														2	1	1		
静岡県 江戸・東京	笠松														1				
	(旧遠江国)																		
	浜松										1				1	1	3	3	6
	見附																2	1	
	掛川																1	2	
	二俣																	1	
	相良																	1	
	(旧駿河国)																		
	静岡										1			2	2	2	3	4	7
	沼津										1			2	1	2	3	3	3
	藤枝													1				1	1
	大宮																		1
	(旧伊豆国)																		
大阪	三島																	2	2
	下田																	1	1
	(旧遠江国)																		
	浜松		1													1	1		
	見附															1		1	
	(旧駿河国)																		
	静岡													2	2	1	1	1	1
	沼津															1		1	
	藤枝													1	1				

[illegible]

[illegible]

[illegible]

	杵築（大社）	2		2													
大阪	（旧出雲国）																
	松江	2	1	2	1												
	杵築（大社）	1		2							2	2	1	1	3	2	
	（旧石見国）																
	浜田										1	2	1		1		
	大田														1		
京都	（旧出雲国）																
	松江	2	1	2									1	1	1	1	
	杵築（大社）	1		2													
岡山県 江戸・東京	（旧備前国）																
	岡山	4		3								1		1	1	1	
	（旧備中国）																
	玉島	1															
	倉敷	3	1									1					
	（旧美作国）																
	津山	1															
大阪	（旧備前国）																
	岡山	4		3							3	3	5	2	4	1	
	（旧備中国）																
	玉島	1										2	1	1			
	倉敷	3	1		1							2	1	1	1	1	
	高梁											2	3	1	1		
	井原											1	1	1	1	1	
	笠岡												1	1		1	
	（旧美作国）																
	津山												2	2			
	真島										1	1					
京都	（旧備前国）																
	岡山	4		3								1	1				1
	（旧備中国）																
	玉島	1															
	倉敷	4	1													1	
	井原													1			
	（旧美作国）																
	津山	1												1	1		
広島県 江戸・東京	（旧安芸国）																
	広島	8	7		8	4		1				2					2
	（旧備後国）																
	福山	2										1					
	尾道	1															
大阪	（旧安芸国）																
	広島	11	13		11	5		1				1	3	8		1	
	（旧備後国）																
	福山		2		1							1	1	1		1	
	尾道		1										1	1		1	
	鞆津											1	1				
京都	（旧安芸国）																
	広島	7	8		8	4		1							1	2	

	今治	1																	
大阪	(旧伊予国)																		
	松山	1										1	1	1					
	今治	1													1				
	西条											1	3						
	大洲												1	2			1	1	
	宇和島												1			1		1	
	川之江													1					
京都	吉田														1				
	(旧伊予国)																		
	松山	1																	
高知県 江戸・東京	今治	1																	
	(旧土佐国)																		
高知	高知	2																	
	(旧土佐国)																		
大阪	高知	2										2	3	4			1	1	
	(旧土佐国)																		
京都	高知	2											1	1			1	1	
	(旧筑前国)																		
九州地方 福岡県	博多	3		1															
	(旧筑後国)																		
江戸・東京	福岡																1	1	
	柳川																	1	
	(旧豊前国)																		
大阪	小倉	1																	
	(旧筑前国)																		
	筑前	1																	
	博多	3		1								1	1	1			1		
	福岡											1	1	5					
	(旧筑後国)																		
	久留米											1	1	2					
	三本松													1					
	福岡												1	1					
	(旧豊前国)																		
京都	小倉	1			1							2	3	1					
	(旧筑前国)																		
	筑前	1																	
	博多	3		1									1						
	福岡												1						
	(旧筑後国)																		
	久留米																	1	
佐賀県 江戸・東京	(旧豊前国)																		
	小倉	1																	
	(旧肥前国)																		
大阪	佐賀				1												3	3	
	(旧肥前国)																		
	佐賀				2							1	3	4	1	3			
	伊万里											1	1						

京都	(旧肥前国) 佐賀					1									1			
長崎県 江戸・東京	(旧肥前国) 長崎		2		5												1	5
	大村																1	
大阪	(旧肥前国) 長崎		3		5						1		1		3		2	
	平戸											1		1		1		
	(旧対馬国) 厳原														1			
京都	(旧肥前国) 長崎		3		5									1	1			
熊本県 江戸・東京	(旧肥後国) 熊本		5		7	1											2	2
大阪	(旧肥後国) 熊本		4		7	2						1	3	4			4	
京都	(旧肥後国) 熊本		4		7	1							1	1				
大分県 江戸・東京	(旧豊後国) 杵築					1												
	佐伯																1	
大阪	(旧豊後国) 杵築					1												
	大分（府内）											1	7	1			1	
	臼杵											1	1					
	佐伯																1	
	(旧豊前国) 中津											1	1	1			2	1
京都	(旧豊後国) 杵築					1												
	大分（府内）												1	1				
宮崎県 江戸・東京	(旧日向国) 延岡		1															
	宮崎																1	1
大阪	(旧日向国) 延岡		1															
京都	(旧日向国) 延岡		1															
鹿児島県 江戸・東京	(旧薩摩国) 鹿児島		2											1			2	2
大阪	(旧薩摩国) 鹿児島		2								1		2	2	2	1	4	2
京都	(旧薩摩国) 鹿児島		2											1				

3 旧三都本屋と取次関係のあった地方本屋

明治元～10年迄に旧三都本屋と取次関係にあった地方本屋を調べ地域別⁽¹⁸⁾に纏めてみると⁽¹⁹⁾、

北海道

東京本屋5人(旧蝦夷)函館2魁文社、常野嘉平・小樽2田附新九郎、佐々木常吉・札幌1田村善兵衛

大阪本屋1人(旧蝦夷)福山1佐渡屋義十郎

東北地方

青森県

東京本屋9人(旧陸奥国)弘前5武田莊七、石井常吉、宮本屋甚兵衛、野崎九兵衛、菊池正助・青森3柿崎忠兵衛、池田吉助、菊池儀三郎・八戸1浦山太郎兵衛

岩手県

東京本屋7人(旧陸中国)盛岡4池野(木津屋)藤兵衛、佐藤(久保田屋)庄兵衛、井筒屋豊治、沢田清助・一ノ関3及川兵治郎、牟木鉄五郎、壺屋養蔵

宮城県

東京本屋12人(旧陸前国)仙台6伊勢(屋)安右衛門、菅原(屋)安兵衛、伊勢屋半右衛門、伊勢屋源十郎、渡辺善七、山中市兵衛支店・石巻3三陸屋利兵衛、山口啓之助、小野寺禎斎・登米1阿部清助、(旧磐城国)白石2高橋屋甚兵衛、安藤屋栄蔵

大阪本屋1人(旧陸前国)仙台1菅原安兵衛

京都本屋1人(旧陸前国)仙台1菅原安兵衛

秋田県

東京本屋6人(旧羽後国)秋田3岡田(屋)惣兵衛、本間金之助、角屋直治・松峰2能登山五右衛門、佐々木長蔵・横手1渡辺(越後屋)八右衛門

山形県

東京本屋19人(旧羽前国)山形8北条忠兵衛、平田(北国屋)弥平治、十一屋源助、市村(屋)五郎兵衛、荒井多四郎、五十嵐(八文字屋)太右衛門、芳村惣治、高田為次郎・鶴岡5地主文蔵、石黒屋珍右衛門、加賀屋五右衛門、小池藤次郎、地主勢二・米沢2会津屋庄右衛門、長谷川虎三郎・上山2万屋利七、高橋庄三郎・谷地1田宮五郎・小出1巴屋平五郎

大阪本屋2人(旧羽前国)山形2北条忠兵衛、荒井多四郎

福島県

東京本屋23人（旧岩代国）福島7 斎藤（上野屋）彦太郎、立見屋卯兵衛、近江屋三十郎、光白屋清次郎、近江屋周吉、都田誠、万屋長五郎・若松5 森（龍田屋）万助、石津屋燾右衛門、斎藤八四郎、田中善平、八木屋長八郎・須賀川2 寶来屋太平、桔梗屋佐平・郡山1 小野屋茂助、（磐城国）中村3 志賀茂卿、丁字屋与七、丁字屋与八・平1 清水（屋）甚太郎・桑折1 仙台屋半七・棚倉1 松屋健之助・保原1 淀屋初太郎・三春1 西村重兵衛

京都本屋1人（旧岩代国）若松1 森万助

関東地方

茨城県

東京本屋16人（旧常陸国）水戸5 須原屋安五郎、北沢（須原屋）安次郎、新報義社、笹島吉郎衛門、松信善之助・太田3 沼尻（会津屋）茂兵衛、宮田雲城、鈴木屋安兵衛・土浦2 伊沼（大国屋）弥助、寺田（屋）新助・水海道1 江戸屋伊右衛門・長竿1 菊池儀助、（旧下総国）竜ヶ崎2 岡野利兵衛、大坂屋重兵衛・境1 高木直次郎・古河1 青木国治郎

大阪本屋1人（旧常陸国）水戸1 北沢安次郎

京都本屋2人（旧常陸国）水戸1 須原屋安五郎・土浦1 伊沼弥助

栃木県

東京本屋16人（旧下野国）宇都宮5 田野辺（万年屋）忠兵衛、篠崎（荒物屋）伊右衛門、西江屋宥蔵、佐藤静雄、篠崎新右衛門・栃木4 立川（釜屋）喜平、菅谷（河内屋）甚平、叶屋儀右衛門、山中八郎・足利3 山中市兵衛支店、和洋商社、山木屋金太郎・大田原1 田代太郎三郎・佐野1 堀越常三郎・上三川1 萩原藤作・今市1 吉田屋長兵衛

大阪本屋3人（旧下野国）宇都宮2 田野辺忠兵衛、篠崎伊右衛門・栃木1 斎藤八郎

京都本屋3人（旧下野国）宇都宮2 田野辺忠兵衛、篠崎伊右衛門・栃木1 菅谷甚平

群馬県

東京本屋28人（旧上野国）高崎8 柴田（菊屋）源作、沢本屋要蔵、博文堂綱吉、島田八百樹、誠之堂安尚、崇文堂輝吉、文心堂量平、菅原屋角二郎・前橋6 下妻屋儀八郎、島村吉三郎、梶山栄吾、博文堂市三郎支店、金港堂支店、橋本屋文次郎・伊勢崎2 川木屋平吉、松本玄瑞・富岡2 三嶋屋喜十郎、治田（三島屋）文治郎・安中2 千真木屋喜兵衛、千巻屋喜平次・吉井1 酢屋定七・桐生1 竹内（白木屋）藤吉・太田1 長岡屋鶏三郎・館林1 糸屋太吉・大間々1 星野伊八・沼田1 塚田屋佐太郎・

藤岡 1 松野屋貞吉・伊香保 1 小林源次郎

埼玉県

東京本屋23人(旧武蔵国) 浦和 5 大浦長蔵、佐藤滝三、藤屋源助、須原屋支店、博聞分社・熊谷 4 杉浦平左衛門、松枝悦三郎、近江屋平吉、博文堂市三郎支店・本庄 2 酢屋安平、諸井巴・深谷 2 小野脩三、酒井省吾・川越 2 岸田屋文吉、蜷川国蔵・幸手 2 大里(遠野屋) 忠平、奈良屋利兵衛・忍 1 原田清太郎・鴻巣 1 長島(屋) 為一郎・羽生 1 安西文次郎・岩槻 1 油屋喜太郎・松山 1 柴田(三河屋) 善八・所沢 1 大黒屋佐兵衛

京都本屋 1 人(旧武蔵国) 忍 1 原田清太郎

千葉県

東京本屋40人(旧下総国) 千葉 6 織本仙五郎、大浦屋長蔵、藤屋錠治郎、三浦屋、伊藤周太郎、博聞分社・多古 2 江戸屋小吉、土屋勘兵衛・佐倉 2 中井藤右衛門、吉田伝左衛門・八日市場 2 木内嘉兵衛、太田儀助・佐原 2 朝野(正文堂) 利兵衛、好文堂正平・小見川 1 高寺清兵衛・船橋 1 品川(屋) 金十郎・野田 1 茂木(梅屋) 林蔵・流山 1 博文堂市三郎本店・布川 1 高津半四郎・布佐 1 榎本次郎右衛門・菅生 1 大滝吉右衛門・酒詰村 1 増山平八、(旧上総国) 大多喜 2 恵比須屋半右衛門、本吉隣・茂原 2 松田屋清兵衛、丸屋茂兵衛・東金 2 能勢(多田屋) 嘉左衛門、北村甚左衛門・木更津 2 和田屋弥兵衛、三野三・一ノ宮 1 釜屋新五郎・鶴舞 1 石割一二・久留利 1 真田小右衛門・幸田 1 本屋吉左衛門、佐貫 1 小松屋長七・堀上村 1 本屋和市・松尾 1 嶋田成之・本納 1 和国屋茂一、(旧安房国) 北条新宿 1 山下安民・吉浜 1 安喜良屋新四郎

京都本屋 2 人(旧下総国) 佐原 1 朝野利兵衛、(旧上総国) 大多喜 1 恵比須屋半右衛門

東京府

東京本屋 8 人(旧武蔵国) 八王子 2 小町屋徳次郎、諸岡権之助・青梅 2 駒屋新兵衛、隋症堂・大森 1 沢潟屋鉄五郎・品川 1 小野崎長助・五日市 1 利倉屋徳兵衛・多摩村 1 田村友甫

神奈川県

東京本屋26人(旧相模国) 小田原 4 金井金八、石川(米屋) 忠兵衛、曾比屋平七、翁屋重兵衛・藤沢 2 釜屋清兵衛、青柳吉五郎・伊勢原 1 山田浅治郎・戸塚 1 尾張屋久兵衛・保土ヶ谷 1 津ノ国屋忠兵衛・厚木 1 高梨与左衛門・横須賀 1 竹川新四郎・浦賀 1 山本平兵衛、(旧武蔵国) 横浜 13 吉川(諸岡屋) 伊兵衛、尾崎(佐野屋) 富五郎、鈴木久米吉、池田(中屋) 孝吉、中屋銀次郎、丸屋善八、伊勢屋茂兵衛、

金港堂、新聞会社、大和屋誠太郎、歌川国松、新堀儀兵衛、今井徳兵衛・神奈川
1 文化堂

大阪本屋 1 人（旧武蔵国）横浜 1 丸屋善八

北陸地方

新潟県

東京本屋 44 人（旧越後国）長岡 6 目黒（鳥屋）十郎、上田屋治平、中村（屋）作平、松田
周平、伊勢屋甚平、山口万吉・新潟 5 堀治作、吉川成造、林富吉、荒川太司、越
中屋与八・高田 4 小方（浅間屋）長吉、本田勝太郎、室（藤屋）直三郎、海老屋
正吉・三条 4 浅間屋伝左衛門、樋口（屋）小左衛門、青柳正兵衛、杉名屋定吉・
水原 3 小田嶋義兵衛、西村（鳥屋）六平、紅屋八郎右衛門・沼垂 2 岡田屋善作、
山本久兵衛・新発田 2 高砂屋長蔵、高砂屋孝吉・加茂 2 丸山乙吉、番場吉次郎・
柏崎 1 高桑屋小平・葛塚 1 弦巻（三条屋）七十郎・白根 1 中村仲右衛門・片町 1
佐藤友吉・地藏堂 1 伊丹屋藤吉・大野 1 大関屋勘太郎・新津 1 中村政治・小千谷
1 小村屋定吉・岡野町 1 村山大三郎・小須戸 1 新保屋太吉・曾根町 1 加藤藤七・
堀ノ内 1 宮崎利久治・中条 1 村山長太郎・六日町 1 目黒宗内・見附 1 加坪屋由右
衛門、（旧佐渡国）羽茂 1 山本屋与八郎

大阪本屋 4 人（旧越後国）沼垂 1 岡田屋善作・葛塚 1 弦巻七十郎・水原 1 西村六平、（旧
佐渡国）羽茂 1 山本屋与八郎

京都本屋 5 人（旧越後国）三条 3 浅間屋伝左衛門、青柳正兵衛、笠原定七・水原 1 小田嶋
義兵衛、（旧佐渡国）羽茂 1 山本屋与八郎

富山県

東京本屋 8 人（越中国）富山 4 大橋（中村屋）甚吾、守川（古川屋）吉兵衛、上市屋宇兵
衛、中川甚蔵・高岡 3 国本吉右衛門、車平次郎、室屋間右衛門・福光 1 清水清左
衛門

大阪本屋 3 人（旧越中国）富山 3 上市屋卯助、大橋甚吾、守川吉兵衛

京都本屋 9 人（旧越中国）富山 5 大橋甚吾、上市屋卯助、守川吉兵衛、中島亀卜、中川甚
蔵・高岡 4 塩屋与右衛門、室屋間右衛門、室屋小右衛門、車平次郎

石川県

東京本屋 5 人（旧加賀国）金沢 5 近田（近岡屋）太平、中村（屋）喜平、木屋平八、柚木
甚兵衛、国本栄作

大阪本屋 10 人（旧加賀国）金沢 8 近田太平、野島信吉、御供田屋太兵衛、中村喜平、桜井
保市、八田屋治郎兵衛、山田（屋）耕吉、桜井余三兵衛・大聖寺 2 鍛冶安平、深

城伊三郎

京都本屋11人(旧加賀国)金沢8中村喜平、近田太平、当屋卯兵衛、中越久二、池善平、
山田耕吉、野島信吉、御供田屋太兵衛・大聖寺1松任屋伊助、(旧能登国)七尾
2松田喜作、春木屋嘉右衛門

福井県

東京本屋4人(旧越前国)福井3岡崎佐喜助、若代正、森下(牧野屋)元治郎・敦賀1本
郷(能登屋)善七

大阪本屋12人(旧越前国)福井5酒井(二文字屋)安兵衛、帶屋喜八、岡崎佐喜助、開知
堂、梶平喜平治・敦賀3天屋清次郎、本郷善七、佐々木慶助・武生2近江屋久兵
衛、千秋与八、(旧若狭国)小浜1松本利兵衛・河原市1武長弥太夫

京都本屋15人(旧越前国)福井7酒井安兵衛、岡崎佐喜助、帶屋喜八、万司曾平、帶屋喜
兵衛、牧野元治郎、梶平専太郎・敦賀4竹苞楼出店、松本彦太郎、本郷善七、佐々
木慶助・武生2千秋与八、黒田善次郎、(旧若狭国)高浜1魚住紋平・遠敷1貫
井与左衛門

東山・東海地方

山梨県

東京本屋8人(旧甲斐国)甲府5内藤(藤屋)伝右衛門、功刀(村田屋)孝太郎、武井(井
筒屋)豊兵衛、五明堂庄八、武井豊二郎・上野原1富田秀実・勝沼1萩原栄蔵・
日川村1志村権右衛門

大阪本屋1人(旧甲斐国)甲府1内藤伝右衛門

京都本屋1人(旧甲斐国)甲府1内藤伝右衛門

長野県

東京本屋29人(旧信濃国)松本6武内(藤松屋)禎十郎、高見(美)屋甚左衛門、窪田(櫛
屋)重平、精華堂八十兵衛、精華堂八十八、水琴堂為吉・長野4西沢(小枡屋)
喜太郎、岩下(蔦屋)伴五郎、田中(蔦屋)弥平、萩原磯左衛門・上田4伊藤(鼠
屋)甲造、飯島(宮島舎)喜兵衛、共同舗、池田政教・小諸3丸屋伝四郎、小山
佐伝治、相場七左衛門・諏訪3藤屋機右衛門、武居茂吉、藤屋作四郎・稲荷山2
小林屋栄蔵、田中(米屋)清左衛門・飯田1皆川(十一屋)半四郎・諏訪金沢1
木曾屋孫三・飯山1協和堂本店・新町1高沢八十吉・須坂1和泉屋吉右衛門・白
田1富田屋儀三郎・松代1炭屋勇太

大阪本屋4人(旧信濃国)長野2西沢喜太郎、岩下伴五郎・松本1高見甚左衛門・飯田1
河内屋新治郎

京都本屋2人（旧信濃国）長野2 西沢喜太郎、岩下伴五郎

岐阜県

東京本屋11人（旧美濃国）岐阜4 三浦源助、水谷（柏屋）善七、山岸弥右衛門、山岸弥平・大垣3 岡安（本屋）慶助、平野（本屋）利兵衛、久保田鍬蔵・笠松1 玉井忠造、（旧飛騨国）高山3 阪田長五郎、升屋重兵衛、阪田嘉蔵

大阪本屋9人（旧美濃国）岐阜3 福田（松坂屋）半九郎、三浦源助、玉井忠造支店・大垣3 平野利兵衛、上田（茶屋）源蔵、岡安慶助・高田2 村上哲蔵、田中弥兵衛・笠松1 加藤正兵衛

京都本屋10人（旧美濃国）岐阜4 福田半九郎、山岸弥右衛門、三浦源助、水谷善七・大垣2 岡安慶助、平野利兵衛・高田2 田中弥兵衛・村上哲蔵・加納1 丁字屋兵作・笠松1 玉井忠右衛門

静岡県

東京本屋29人（旧遠江国）浜松9 落合（伊勢屋）清七、白木健二郎、伊勢屋権平、斎藤（谷嶋屋）源三郎、斎藤太兵衛、山下仁平、伊勢屋太右衛門、一貫社、松塚聚人・見附2 古沢良作、酒井忠三・掛川2 松屋好五郎、三原屋甚蔵・二俣1 天井金蔵・相良1 浜松屋新兵衛、（旧駿河国）静岡7 広瀬（浪花屋）市蔵、須原屋善蔵、佐藤（東屋）俊平、米山定昌、紙屋太兵衛、今津美之助、大和屋利兵衛・沼津3 小松（本屋）浦吉、荒川（本屋）源助、吉成（本屋）寿三郎・藤枝1 浅井（遠州屋）安兵衛、（旧伊豆国）三島2 関谷利右衛門、小西（堺屋）又三郎・下田1 平野屋久七
大阪本屋6人（旧遠江国）浜松1 伊勢屋太右衛門・見附1 古沢良作、（旧駿河国）静岡2 広瀬市蔵、須原屋善蔵・藤枝1 浅井安兵衛・沼津1 小松浦吉

京都本屋3人（旧遠江国）浜松1 落合清七、（旧駿河国）静岡2 広瀬市蔵、須原屋善蔵

愛知県

東京本屋26人（旧尾張国）名古屋16 片野（永楽屋）東四郎、矢田（菱屋）藤兵衛、栗田（万屋）東平、鬼頭（菱屋）平兵衛、三輪（美濃屋）伊六、三輪清七、三輪（美濃屋）文次郎、加藤（永楽屋）正兵衛、川瀬（美濃屋）代助、梶田（秋田屋）勘助、秋田屋源助、金網屋伴五郎、金網屋伴七、文教堂保兵衛、鬼頭松次郎、丸善支店・半田1 小栗太郎兵衛、（旧三河国）岡崎3 松原惣八、松原惣太郎、伊藤（本屋）文吉・豊橋2 長尾三九二、高須又八・榎前1 加藤利兵衛・西尾1 鹿島十兵衛・挙母1 菅江笑三・新城1 村田（蔦屋）英吉

大阪本屋18人（旧尾張国）名古屋15 片野東四郎、加藤正兵衛、栗田東平、矢田藤兵衛、鬼頭平兵衛、永楽屋佐助、永楽屋和助、松月堂勘助、風月堂孫助、文教堂保兵衛、

三輪伊六、三輪文次郎、川瀬代助、三輪清七、秋田屋源助・半田1小栗太郎兵衛、
(旧三河国) 榎前1加藤利兵衛・豊橋1神戸藤次郎

京都本屋17人(旧尾張国) 名古屋13片野東四郎、栗田東平、矢田藤兵衛、鬼頭平兵衛、三
輪伊六、三輪文次郎、川瀬代助、加藤正兵衛、金網屋伴七、秋田屋源助、永楽屋
吉三郎、風月堂孫助、梶田勘助、(旧三河国) 岡崎4近藤巴太郎、稲岡左橋、松原
惣太郎、伊藤小文司

三重県

東京本屋10人(旧伊勢国) 津2篠田伊十郎、沢田(本屋) 佐兵衛・山田2加藤(藤原屋)
長平、山崎与三兵衛・四日市2伊藤(吉田屋) 善太郎、中島(屋) 富三郎・松坂
2中西(本屋) 嘉助、山本亀太郎・桑名2森(桃屋) 伝四郎、大塚茂兵衛

大阪本屋12人(旧伊勢国) 津5篠田伊十郎、大森(山形屋) 伝右衛門、服部(丁字屋) 清
七、本屋治助、沢田佐兵衛・山田3藤原屋甚右衛門、加藤長平、山崎与三兵衛・
桑名1森伝四郎・松坂1中西嘉助、(旧伊賀国) 上野1窪田宗七郎・名張1川口
久兵衛

京都本屋28人(旧伊勢国) 津10篠田伊十郎、大森伝右衛門、服部清七、本屋治助、沢田佐
兵衛、山形屋友七、山形屋藤兵衛、芝原甚兵衛、加藤長平支店、本屋新治・松坂
4山口(柏屋) 兵助、中西嘉助、山本亀太郎、山本正兵衛・山田3加藤長平、山
崎与三兵衛、川北小平・久居3吉川仁兵衛、福田長三、福田長兵衛・四日市2伊
藤善太郎、武田礼吉・桑名1森伝四郎・肥田1服部利三郎・一身田1橋本太造・
神戸1吉田伊作・亀山1渡辺東五郎、(旧伊賀国) 上野1豊住伊兵衛

近畿地方

滋賀県

東京本屋2人(旧近江国) 大津2沢(本屋) 宗次郎、宮脇睡仙

大阪本屋5人(旧近江国) 彦根2小川(本屋) 九平、広田七次郎・大津1沢宗次郎・長浜
1中村(酢屋) 藤兵衛・水口1藪音次郎

京都本屋34人(旧近江国) 大津11沢宗次郎、古川(本屋) 伊助、小川義平、琵琶湖社、滋
賀新聞会社、野口、翠竹堂、沢五星舎、中井久四郎、西湖堂兵吉、琵琶湖書楼・
長浜4中村藤兵衛、吉田(銭屋) 作平、中川仁左衛門、山本文平・石部4青木伊
助、藤松松鳩堂、山本元治郎、福嶋忠次・彦根3小川九平、西村善兵衛、中村長
平・水口3藪定吉、山田吉平、伏木八郎兵衛・八幡2木村伝吉、大内幣六・大溝
2西田清五郎、本莊重左衛門・八日市1本屋文右衛門・高宮1本屋太平・坂口1
大和屋市兵衛・高島1但馬屋七兵衛・守山1宇野三宜堂

京都府

大阪本屋11人（旧丹波国）福知山2 中村茂三郎、岡田清兵衛・綾部1 堀勘七・園部1 大西弘文堂・黒井1 溝口長三郎、（旧丹後国）宮津2 西田儀兵衛、南波庄兵衛・舞鶴2 由井庄右衛門、鳥屋吉左衛門・河守1 大川（町）三右衛門・峯山1 上島長助
京都本屋12人（旧山城国）伏見1 前田半兵衛・淀1 内藤儀平、（旧丹波国）亀岡3 内藤半七、須田重右衛門、炭屋五右衛門・福知山2 荒木喜助、中村茂三郎・園部2 大西弘文堂、犬石藤七、（旧丹後国）宮津1 南波庄兵衛・峯山1 上島長助・河守1 大川三右衛門

大阪府

東京本屋2人（旧和泉国）堺2 鈴木（河内屋）久三郎、書籍会社
大阪本屋7人（旧和泉国）堺5 鈴木久三郎、書籍会社、北村（屋）佐平、鈴木久三郎支店、近江佐平・岸和田1 本田庄次郎、（旧河内国）枚方1 多田屋喜平次
京都本屋2人（旧和泉国）堺2 鈴木久三郎、北村佐平

兵庫県

東京本屋4人（旧播磨国）姫路2 本莊（灰屋）輔二、山野（灰屋）長平、（旧摂津国）兵庫2 鳩居堂出店、金港堂支店
大阪本屋37人（旧播磨国）姫路5 本莊輔二、山野長平、松原（灰屋）庄八、本莊千代平、伊藤和七郎・明石4 田中宗二郎、薬師寺（紙屋）卯一郎、藤井五右衛門、福井宗吉・龍野2 長野孫治郎、平井六郎兵衛・赤穂1 室井（赤松屋）清兵衛・国岡1 庄司伊平治・高砂1 小山伊八・日山1 武内宗七、（旧但馬国）豊岡3 由利安助、水垣嘉三郎、近藤斎助・出石1 芦田婦一、（旧丹波国）篠山6 入江（笹屋）林之助、井上寿太郎、北川竹蔵、浦名三右衛門、開成堂、亘理直方、（旧淡路国）須本2 稲葉屋儀八郎、福浦（桑島屋）文蔵、（旧摂津国）兵庫5 中井（中屋）与兵衛、油屋庄五郎、多田屋善九郎、鳩居堂出店、青山享太郎・三田3 大垣久兵衛、安田節馬、旭千太郎・神戸1 前田泰一・尼崎1 岡野清助
京都本屋5人（旧播磨国）姫路3 本莊輔二、山野長平、小川金助、（旧但馬国）豊岡1 由利安助、（旧摂津国）兵庫1 鳩居堂出店

奈良県

東京本屋2人（旧大和国）奈良2 油屋儀八、後藤輯
大阪本屋19人（旧大和国）奈良8 油屋儀八、後藤輯、中沢治平、高橋（米屋）平三、小瀬（白銀屋）弥三郎、村田辰、坂田朔次郎、日報社・八木2 名和省次郎、藤田善平・宇陀2 長井又市郎、松尾徳三郎・丹波市1 久保田屋重次郎・御所1 岸宣美・高

田1竹内義厚・五条1松田(松屋)久平・郡山1寛熊吉・法隆寺1岡本庄二・三輪1兵庫屋又四郎

京都本屋4人(旧大和国)奈良4高橋平三、後藤輯、小瀬弥三郎、坂田朔次郎

和歌山県

大阪本屋18人(旧紀伊国)和歌山7野田(坂本屋)大二郎、高市(帶屋)伊兵衛、平井(本屋)文助、野田(坂本屋)喜一郎、阪本弥兵衛、福田佐兵衛、津田源兵衛・日高2(紀)小竹屋佐兵衛、菱屋藤次郎・熊野2森嶋嘉兵衛、越野恵一郎・田辺2福島五郎兵衛、不二木為次郎・西覚寺門前1小西利兵衛・箕島1橋爪(宮原屋)伝右衛門・高野山1岡谷嘉七・湯浅1岩崎種之助・串本1神田清左衛門

京都本屋3人(旧紀伊国)和歌山2野田大二郎、野田喜一郎・箕島1橋爪伝右衛門

中国地方

鳥取県

東京本屋1人(旧伯耆国)倉吉1山本屋弥一郎

大坂本屋7人(旧伯耆国)米子3高島晋太郎、稲田伊七郎、今井兼文・倉吉1山本屋弥一郎、(旧因幡国)鳥取3久美屋清吉、出雲屋清兵衛、横山清助

島根県

東京本屋1人(旧出雲国)松江1園山(尼崎屋)喜三右衛門

大阪本屋9人(旧出雲国)松江6辰巳屋忠左衛門、園山喜三右衛門、川岡清助、有田伝助、稻吉吉藏、大芦利七、(旧石見国)浜田2安達(出雲屋)幾太郎、岡山六兵衛・大田1井口文郎九

京都本屋2人(旧出雲国)松江2川岡清助、園山喜三右衛門

岡山県

東京本屋4人(旧備前国)岡山3渡辺(能勢屋)源米、世良田(中島屋)益太郎、細勤社・(旧備中国)倉敷1林(大坂屋)源十郎

大阪本屋25人(旧備前国)岡山8若松屋亀吉、世良田益太郎、渡辺源米、弘文南社、弘文北社、細勤社、岡田源吉、富木徳得、(旧備中国)倉敷4林源十郎、黒金屋助四郎、西沢(太田屋)六蔵、大坂屋源助・高梁4樋池長八、松田屋大三郎、加島屋保之助、柴原宗助・玉島2妹尾市三郎、大村屋文蔵・井原2萩田長三、萩田元治郎・笠岡2細勤社、森田佐平、(旧美作国)津山2横山治平、文華堂・真島1三沢笑平

京都本屋5人(旧備前国)岡山2世良田益太郎、渡辺源米、(旧備中国)倉敷1大阪屋源助・井原1萩田元治郎、(旧美作国)津山1横山治平

広島県

東京本屋 5 人（旧安芸国）広島 4 田辺屋真六、末田（井筒屋）勝次郎、松村善助、秋田惣兵衛、（旧備後国）福山 1 藤村（笹屋）喜兵衛

大阪本屋 16 人（旧安芸国）広島 11 世並屋伊兵衛、田辺屋真六、末田勝次郎、荒木豊次郎、田中新兵衛、友田藤助、児玉喜蔵、秋田惣兵衛、松村善助、永田兼三、松島喜五郎、（旧備後国）尾道 3 三木半兵衛、林蘇太郎、上原文助・福山 1 藤村喜兵衛・鞆津 1 村上新助

京都本屋 2 人（旧安芸国）広島 2 荒木豊次郎、児玉喜蔵

山口県

東京本屋 6 人（旧周防国）岩国 1 米谷助右衛門・徳山 1 浅田屋彦六・山口 1 宮川（山城屋）臣吉、（旧長門国）萩 2 宮部（山城屋）彦八、阿部準助・下関 1 書籍会社

大阪本屋 12 人（旧周防国）徳山 2 浅田屋孫兵衛、万福屋要蔵・宮市 2 藤屋文左衛門、市川彦右衛門・山口 1 宮川（山城屋）臣吉・富海 1 入江（入枳屋）茂兵衛・岩国 1 米谷助右衛門・小郡 1 江村利兵衛・遠崎 1 富田弥市、（旧長門国）萩 2 宮部昌吉、松原喜兵衛・下関 1 書籍会社

京都本屋 5 人（旧周防国）富海 1 入江茂兵衛・山口 1 宮川臣吉・徳山 1 万福屋要蔵、（旧長門国）萩 1 宮部彦八・下関 1 書籍会社

四国地方

徳島県

東京本屋 2 人（旧阿波国）徳島 2 住友（天満屋）武兵衛、坂井万吉

大阪本屋 5 人（旧阿波国）徳島 5 住友武兵衛、黒崎（紀伊国屋）三右衛門、世渡谷徳蔵、小川六右衛門、黒崎源助

京都本屋 1 人（旧阿波国）徳島 1 住友武兵衛

香川県

東京本屋 1 人（旧讃岐国）琴平 1 宝屋小七郎

大阪本屋 9 人（旧讃岐国）高松 4 岡田（河内屋）為助、岩佐（本屋）茂兵衛、森田善兵衛、開文舎支店・琴平 3 沼田（柏屋）仲助、宝屋小七郎、大庭茂兵衛・丸亀 2 鷹屋清右衛門、開文舎

京都本屋 5 人（旧讃岐国）琴平 3 沼田仲助、宝屋小七郎、大場茂兵衛・高松 2 岡田為助、岩佐茂兵衛

愛媛県

東京本屋 1 人（旧伊予国）今治 1 鳥生屋広助

大阪本屋15人(旧伊予国)西条3加地可平、三木繁藏、武田兼三郎・大洲3名田屋元吉、
大森左太藏、味村直恕・宇和島3堺屋源藏、馬場齊、山本彦八・松山3木村庸、
大和屋与兵衛、玉井新次郎・今治1鳥生屋広助・吉田1岩城半三郎・川之江1高
津住松

高知県

大阪本屋4人(旧土佐国)高知4栗尾(改田屋)民藏、近藤為吉、井上駿藏、沢本駒吉
京都本屋1人(旧土佐国)高知1栗尾民藏

九州地方

福岡県

東京本屋2人(旧筑前国)福岡1林斧助、(旧筑後国)柳川1宮本宗三郎
大阪本屋14人(旧筑前国)福岡6岩田屋芳兵衛、江藤正澄、林斧助、古野徳三郎、古賀男
夫、山崎啓八・博多1船木(深屋)弥助、(旧筑後国)久留米2菊竹(二文字屋)
儀平、島屋利助・三本松1赤司平次郎・福岡1佐野長七、(旧豊前国)小倉3中
津屋卯助、鍋屋五兵衛、梶屋嘉六
京都本屋4人(旧筑前国)福岡2岩田屋芳兵衛、古賀男夫・博多1船木弥助、(旧筑後国)
久留米1実藤亨節

佐賀県

東京本屋3人(旧肥前国)佐賀3河内(槌屋)壮助、厚生分社、熊本吉藏
大阪本屋6人(旧肥前国)佐賀5河内壮助、成富吉藏、熊本吉藏、武富吉藏、厚生分社・
伊万里1中村堪二
京都本屋1人(旧肥前国)佐賀1紙屋利兵衛

長崎県

東京本屋6人(旧肥前国)長崎5鶴野常藏、小野左右助、以文会社、満都家太平治、書籍
会社・大村1山口槌太郎
大阪本屋7人(旧肥前国)長崎5鶴野(塩屋)常次郎、下瀬久兵衛、小野左右助、小野国
太郎、以文会社・平戸1三輪屋八十治、(旧対馬国)厳原1龍井藤助
京都本屋2人(旧肥前国)長崎2小野左右助、小野国太郎

熊本県

東京本屋3人(旧肥後国)熊本3本田又太郎、水島貫之、長崎治郎
大阪本屋9人(旧肥後国)熊本9本田理一郎、小島屋儀兵衛、永田(小島屋)儀八郎、中
山(珠洲屋)伝兵衛、阿部(豊前屋)太平、長崎治郎、中山貞吉、近藤富八、本
田又太郎

京都本屋 2 人（旧肥後国）熊本 2 永田儀八郎、中山伝兵衛

大分県

東京本屋 1 人（旧豊後国）佐伯 1 東門作

大阪本屋 6 人（旧豊前国）中津 3 松葉屋作兵衛、梅津（辛子屋）寿平、柏木勘七、（旧豊後国）大分 1 山川（大坂屋）正三郎・臼杵 1 釘宮嘉平・佐伯 1 博済社

京都本屋 2 人（旧豊前国）中津 1 梅津寿平、（旧豊後国）大分 1 山川正三郎

宮崎県

東京本屋 1 人（旧日向国）宮崎 1 山中市兵衛支店

鹿児島県

東京本屋 3 人（旧薩摩国）鹿児島 3 青木泰助、吉田源太郎、山中市兵衛支店

大阪本屋 7 人（旧薩摩国）鹿児島 7 吉田源三右衛門、青木泰助、書林会社、吉田幸兵衛、山中市兵衛支店、鈴木市太郎、吉田源左衛門

京都本屋 1 人（旧薩摩国）鹿児島 1 青木泰助

上記を、旧三都発兌本屋との取次関係が確認できた府県別個所・本屋総数、10人以上の取次本屋が確認できた府県数に纏めてみる。

東京本屋（総数）2 府 1 道40県213個所466人、（10人以上）15県161個所352人

大阪本屋（総数）2 府 1 道34県146個所332人、（10人以上）1 府12県91個所219人

京都本屋（総数）2 府34県94個所204人、（10人以上）1 府 6 県45個所127人

次に10人以上の地方取次本屋が確認できた府県を人数の多かった順に記すと、

東京本屋・新潟県23個所44人、千葉県27個所40人、長野県13個所29人、静岡県11個所29人、群馬県13個所28人、神奈川県10個所26人、愛知県 8 個所26人、福島県10個所23人、埼玉県12個所23人、山形県 6 個所19人、茨城県 8 個所16人、栃木県 7 個所16人、宮城県 4 個所12人、岐阜県 4 個所11人、三重県 5 個所10人
大阪本屋・兵庫県14個所37人、岡山県 8 個所25人、奈良県10個所19人、和歌山県 8 個所18人、愛知県 4 個所18人、広島県 4 個所16人、愛媛県 7 個所15人、福岡県 6 個所14人、山口県 9 個所12人、三重県 6 個所12人、福井県 5 個所12人、京都府 8 個所11人、石川県 2 個所10人

京都本屋・滋賀県12個所34人、三重県11個所28人、愛知県 2 個所17人、福井県 5 個所15人、京都府 7 個所12人、石川県 3 個所11人、岐阜県 5 個所10人

となった。

4 旧三都本屋と地方取次中核本屋

旧三都発兌書肆が遠隔地の客への対応策として、抱える地方取次本屋の中から中取次の役割を果たす取次中核本屋を選出し売り本の注文受けと配本の拠点としていたことは既に指摘されている⁽²⁰⁾。では調査した地方取次本屋の内どの本屋が取次中核本屋で、どのような観点から選り出したのだろうか。この点を明らかにするのは資料不足もあり現時点では難しい。だが売り出し本に「諸国弘通書肆」などの掲載が特に多くなる明治6～10年迄を対象に、5年間全てに掲載されている本屋と可能性が高いと思われる5年中4年掲載の本屋を抽出し、取引開始時期を調べることである程度推測が可能になると考える⁽²¹⁾。

以下に調査結果を記すが、抽出した本屋名の後に、5年間全てに掲載されている場合は「◎」、5年中4年掲載の場合は「○」、江戸期からの取引が確認できる場合は「江」、明治以降からの取引の場合は「明」と付記する。

東京本屋

- 宮城県 仙台1 菅原(屋) 安兵衛(◎、江)
- 福島県 福島1 斎藤(上野屋) 彦太郎(○、明)・若松1 森(龍田屋) 万助(○、明)
- 茨城県 水戸1 北沢(須原屋) 安次郎(○、江)・土浦1 寺田(屋) 新助(○、江)
- 栃木県 宇都宮1 田野辺(万年屋) 忠兵衛(○、明)
- 群馬県 高崎1 柴田(菊屋) 源作(◎、明)
- 埼玉県 熊谷2 杉浦平左衛門(◎、明)、松枝悦三郎(○、明)・鴻巣1 長島(屋) 為一郎(○、江)・川越1 岸田屋文吉(○、明)
- 千葉県 佐原1 朝野(正文堂) 利兵衛(◎、江)
- 神奈川県 小田原1 石川(米屋) 忠兵衛(○、明)・横浜1 吉川(師岡屋) 伊兵衛(○、江)
- 新潟県 長岡3 中村(屋) 作平(◎、江)、上田屋治八(◎、江)、目黒(鳥屋) 十郎(◎、江)・葛塚1 弦巻(三条屋) 七郎(○、明)・高田1 小方(浅間屋) 長吉(○、明)
- 富山県 富山2 大橋(中村屋) 甚吾(○、明)、守川(古川屋) 吉兵衛(○、明)
- 石川県 金沢1 近田(近岡屋) 太平(◎、江)
- 山梨県 甲府1 内藤(藤屋) 伝右衛門(◎、江)
- 長野県 長野2 西沢(小枡屋) 喜太郎(◎、江)、岩下(蔦屋) 伴五郎(○、江)・松本2 高見(屋) 甚左衛門(○、江)、武内(藤松屋) 禎十郎(○、江)・諏訪1 藤屋機右衛門(○、明)・飯田1 皆川(十一屋) 半四郎(○、明)・上田1 伊藤(鼠

屋) 甲造 (○、明)・諏訪金沢1 木曾屋孫三 (○、明)

岐阜県 岐阜2 三浦源助 (○、明)、水谷 (柏屋) 善七 (○、明)・大垣1 平野 (本屋)
利兵衛 (○、江)

静岡県 静岡2 広瀬 (浪花屋) 市蔵 (◎、江)、須原屋善蔵 (○、明)・沼津2 小松 (本
屋) 浦吉 (◎、明)、荒川 (本屋) 源助 (○、江)・浜松1 落合 (伊勢屋) 清七
(○、明)・三島1 小西 (堺屋) 又三郎 (○、明)

愛知県 名古屋5 片野 (永楽屋) 東四郎 (◎、江)、矢田 (菱屋) 藤兵衛 (◎、江)、鬼
頭 (菱屋) 平兵衛 (◎、江)、栗田 (万屋) 東平 (○、江)、三輪伊六 (○、江)・
岡崎1 伊藤 (本屋) 文吉 (○、江)

大阪本屋

石川県 金沢2 近田太平 (◎、江)、中村 (屋) 喜平 (○、明)

福井県 福井2 酒井 (二文字屋) 安兵衛 (◎、明)、岡崎佐喜助 (○、明)

山梨県 甲府1 内藤伝右衛門 (◎、江)

長野県 長野1 西沢喜太郎 (○、江)

岐阜県 岐阜1 三浦源助 (○、明)・大垣1 岡安 (本屋) 慶助 (○、明)

静岡県 静岡1 広瀬市蔵 (◎、江)

愛知県 名古屋8 片野東四郎 (◎、江)、矢田藤兵衛 (◎、江)、栗田東平 (◎、江)、
鬼頭平兵衛 (◎、江)、川瀬 (美濃屋) 代助 (○、江)、加藤 (永楽屋) 正兵衛
(○、江)、三輪伊六 (○、江)、三輪 (美濃屋) 文次郎 (○、江)・榎前1 加藤
利兵衛 (○、明)

三重県 山田2 加藤 (藤原屋) 長平 (○、江)、山崎与三兵衛 (○、明)・津1 篠田伊十
郎 (◎江)

滋賀県 大津1 沢 (本屋) 宗次郎 (○、江)・彦根1 小川 (本屋) 九平 (○、江)

大阪府 堺2 鈴木 (河内屋) 久三郎 (◎、江)、北村 (屋) 佐平 (◎、江)

兵庫県 姫路3 山野 (灰屋) 長平 (◎、江)、本荘 (灰屋) 輔二 (○、江)、松原 (灰屋)
庄八 (○、江)

奈良県 奈良1 高橋 (米屋) 平三 (○、明)

和歌山県 和歌山4 野田 (坂本屋) 大二郎 (◎、江)、平井 (本屋) 文助 (◎、江)、野
田 (坂本屋) 喜一郎 (○、江)、高市 (帯屋) 伊兵衛 (○、江)

島根県 松江1 園山 (尼崎屋) 喜三右衛門 (○、江)

岡山県 岡山2 世良田 (中島屋) 益太郎 (◎、江)、渡辺 (能勢屋) 源米 (◎、明)・倉
敷1 西沢 (太田屋) 六蔵 (○、江)・井原1 萩田元治郎 (○、明)

広島県 福山1 藤村(笹屋)喜兵衛(◎、江)・広島1 末田(井筒屋)勝次郎(○、江)
山口県 徳山1 万福屋要蔵(○、明)
徳島県 徳島2 住友(天満屋)武兵衛(◎、江)、黒崎(紀伊国屋)三右衛門(○、江)
香川県 琴平1 沼田(柏屋)仲助(○、江)
高知県 高知1 栗尾(改田屋)民蔵(○、明)
佐賀県 佐賀1 河内(槌屋)壮助(○、明)
大分県 大分1 山川(大坂屋)正三郎(○、明)
鹿児島県 鹿児島1 青木泰助(◎、明)

京都本屋

石川県 金沢2 近田太平(◎、江)、中村喜平(◎、明)
福井県 福井2 酒井安兵衛(○、明)、岡崎佐喜助(○、明)・敦賀1 本郷(能登屋)善七(○、明)
岐阜県 大垣1 岡安慶助(◎、明)・岐阜1 三浦源助(○、明)
静岡県 浜松1 落合清七(○、明)
愛知県 名古屋6 片野東四郎(◎、江)、矢田藤兵衛(◎、江)、栗田東平(◎、江)、川瀬代助(◎、江)、三輪伊六(○、江)、梶田(秋田屋)源助(○、江)
三重県 津3 大森(山形屋)伝右衛門(◎、江)、服部(丁字屋)清七(◎、江)、篠田伊十郎(○、江)・松坂2 山口(柏屋)兵助(◎、江)、中西(本屋)嘉助(◎、江)・山田2 加藤長平(◎、江)、山崎与三兵衛(○、明)・桑名1 森(杣屋)伝四郎(○、明)
滋賀県 大津3 沢宗次郎(◎、江)、古川(本屋)伊助(○、明)、小川儀平(○、明)・彦根1 小川九平(○、江)・長浜1 中村(酢屋)藤兵衛(○、明)
京都府 宮津1 南波庄兵衛(○、明)・亀岡1 内藤半七(○、明)
兵庫県 兵庫1 鳩居堂出店(◎、明)・姫路1 本荘輔二(○、江)・豊岡1 由利安助(○、明)
島根県 松江1 川岡清助(○、明)
山口県 山口1 宮川(山城屋)臣吉(○、明)
徳島県 徳島1 住友武兵衛(○、江)
高知県 高知1 栗尾民蔵(○、明)

上記を、①地方取次中核本屋数、②5年全部掲載の本屋数、③5年間で4年掲載の本屋数、④江戸期から取引のある本屋数、⑤明治期から取引開始の本屋数に纏めると、

東京本屋①16県33個所46人、②10県11個所15人、③11県27個所31人、④16個所24人、⑤

19個所22人

大坂本屋① 1 府22県30個所48人、② 1 府12県13個所18人、③19県22個所30人、④20個所33人、⑤13個所14人

京都本屋① 1 府12県23個所36人、② 5 県 7 個所13人、③ 1 府11県19個所23人、④ 9 個所17人、⑤17個所19人

となり、明治10年段階では京都本屋が若干少ないものの、東京本屋と大阪本屋はほぼ同数程度の取次中核本屋を抱え込んでいたことと、大阪本屋が江戸期からの取引関係が確認できる本屋が多いのに対して、東京本屋は逆に明治期以降から取引を始めた本屋が多かったことがわかる⁽²¹⁾。

5 おわりに

旧三都本屋との間で広域取次関係にあったことが確実な地方取次地と地方本屋数をみると、江戸後期の文政から慶応迄の約50年間で、江戸本屋（実数）75個所168人（延数・文政11個所31人、天保42個所77人、弘化19個所29人、嘉永35個所56人、安政35個所65人、万延3個所8人、文久11個所20人、元治3個所6人、慶応16個所18人）、大阪本屋（実数）72個所165人（延数・文政13個所34人、天保42個所80人、弘化20個所32人、嘉永31個所53人、安政32個所55人、万延3個所9人、文久11個所20人、元治3個所6人、慶応5個所5人）、京都本屋（実数）58個所130人（延数・文政12個所32人、天保28個所54人、弘化20個所30人、嘉永27個所43人、安政27個所44人、万延3個所8人、文久11個所20人、元治3個所6人、慶応5個所5人）であった。明治元～10年迄の地方取次地と地方本屋の実数は、上記したように東京本屋が213個所466人、大坂本屋が146個所332人、京都本屋が94個所204人で、三都共に明治初年時に大きく伸ばしていたことがわかる。こうした点から判断しても、江戸期に三都本屋たちが模索していた、地方本屋を取り込むことで売り本の拡大化を図るという販売戦略は、明治初年時にも継承されていたと考えてよいであろう⁽²⁰⁾。上記の数値をみる限り慶応年間頃には江戸本屋は大阪本屋と均衡する存在になっていたように思われるが、明治元～6年迄の取次個所と取次本屋数をみると東京本屋が46個所60人であるのに対して、大坂本屋が89個所154人、京都本屋が53個所93人で、明治改元当初から優勢な状況を維持していた訳ではなかったことがわかる。こうした地方本屋を取り込むことで販売強化を図るという方法は、三都本屋共通のやりかたであった。従って、地方本屋の取込みも活動開始時期が早い方が有利に作用することになり、必然的に先発の京都・大坂本屋に比して後れをとる状況にならざるを得なかった。江戸本屋は安政・嘉永期頃から、それ迄

取次地でなかった新規地方本屋の獲得(信濃国小諸・高遠、下野国佐野、磐城国平、羽前国山形・米沢、羽後国横手・湯沢など)活動に力を入れるようになったようで、上記した慶応期の地方取次地と地方本屋数16箇所18人という数値は、こうした江戸本屋たちの努力の証しであったと思われる。しかし、地方本屋の獲得にも広域流通中心となる地方中核本屋を育成するにも時間的な余裕が必要であり、この点がネックとなって江戸期を通じてついに大阪・京都本屋を超える存在にはなり得なかった。しかし幕末期から維新後にかけて、地方取次本屋の新規獲得にあまり積極的でなかった大阪・京都本屋に対して、上記の表をみてもわかるように東京本屋は地道に新規開拓に取り組んでおり、そうした努力の差が明治ゼロ年代の後半から10年代にかけて如実に出てくるようになっていったのであろう。

明治10年代になると、各地の地方取次中核本屋が新刊本を版行(地域限定の小学校教科書及び授業関連書が大部分)を自らが版行するケースが増加するようになる。そのことが要因なのであろうが、地域内で営業する地方本屋の取込みを図り、独自の取次流通網形成に力を入れるようになる。今回は、こうした最末端にあたる地方取次本屋について調査し考えたいと思っている。

注

- (1) 明治元～7年版行本書目に、東京府管下書物問屋『戊申以来新刻書目便覧』、大阪府管下書林『戊申以来新刻書目一覧』、京都府管下第一書籍商社『御維新以来京都新刻書目便覧』が、明治8～10年版行本書目に内務省『版權書目第壹号～第五号』があり、上記は朝倉治彦・佐久間信子『明治初期三都新刻書目』日本古書通信社、1971、下記は明治文化資料叢書刊行会『明治文化叢書第七巻書目篇』風間書房、1963に収録されている。
- (2) 『改正字林玉篇』発兌東京木村文三郎・水野慶次郎、版權免許明治九年六月十三日。
- (3) 『作文必携卷之三』出版東京柳河梅治良、版權免許明治九年九月廿七日。
- (4) 『小学作文階梯卷之一』出版人大阪浅井吉兵衛、版權免許明治九年二月廿七日。
- (5) 「東京・大阪・京都本屋」は、以下「旧三都本屋」と記述する。
- (6) 若尾政希「近世人の蔵書形成と書物の流通－信州更級郡岡田村寺澤直興の場合」『日本文学』57、2008、鈴木俊幸『書籍流通史料論 序説』勉誠出版、2012、鈴木淳世「近世後期八戸藩の豪農による書物受容の特質－淵沢円右衛門定啓の場合」『歴史』122、2014、吉田麻子「平田国学と書物・出版」『出版と流通』シリーズ本の文化史4、平凡社、2016などの論考が示唆的。
- (7) 朝倉治彦『近世出版広告集成第三巻』書誌書目シリーズ⑪、ゆまに書房、2000、p 41。
- (8) 朝倉治彦『近世出版広告集成第一巻』書誌書目シリーズ⑪、ゆまに書房、2000、p 2。
- (9) 朝倉治彦『近世出版広告集成第二巻』書誌書目シリーズ⑪、ゆまに書房、2000、p 202。

- (10) 今田洋三『江戸の本屋さん－近世文化史の側面』NHK ブックス299、日本放送出版協会、1977、鈴木俊幸『葛屋重三郎』近世文学研究叢書9、若草書房、1998、鈴木俊幸『江戸の読書熱－自学する読者と書籍流通』平凡社、2007の中で、江戸の須原屋茂兵衛・葛屋重三郎・和泉屋市兵衛・森屋治兵衛、大阪の秋田屋太右衛門・敦賀屋九兵衛などの例を紹介している。又江戸期から明治20年代迄に三都・地方本屋から刊行の出版物を対象に関連書誌事項を書き出した、鈴木俊幸編・刊『近世日本における書籍・摺物の流通と享受についての研究－書籍流通末端業者の網羅的調査を中心に』1996～1998年度科学研究費補助金（基礎研究C（2）研究成果報告書、1999があり、現在も調査を継続中である。
- (11) 『略解古事記』東京和泉屋庄次郎・京都永田調兵衛版、明治七甲戌五月三十日官許。
- (12) 『輿地誌略字引』開版書林大阪此村庄助、明治八年六月発兌。
- (13) 『農商必用童蒙開化字訓』京都今井喜兵衛発兌、明治六年酉十二月序刊。
- (14) 落合重信「神戸図書出版史ノート－明治期熊谷久栄堂（鳩居堂）を中心に」『歴史と神戸』91、1978、青木忠雄「埼玉における明治期出版活動覚書（一）－鴻巣「盛化堂」の展開」『埼玉史談』42－4、1996、鈴木俊幸「筑摩県における教科書・掛図翻刻事業と高美甚左衛門」『中央大学文学部紀要』194、2003、須山高明「明治期和歌山における一書商の動向－坂本屋・野田大二郎の活動を中心に」『和歌山地方史研究』45、2003、柳沢美美子「福井県域の出版業者・書店について－江戸時代後半から明治前期の概況」『福井県文書館研究紀要』5、2008などの論考がある。
- (15) 調査に使用した本の書誌事項を以下に記す。

東京本屋

明治2年『天然人造道理図解』発兌近江屋岩次郎、（売弘）

明治3年『鑒古録』発兌江島喜兵衛、諸国・三府書肆

明治5年『導歌地学の枝折』発兌鈴木喜右衛門・高木和助、京・大阪・東京・諸国書林

明治6年①『三則説教原義』発兌江島喜兵衛、発行書肆、②『世界都路欧羅巴州』発兌江島喜兵衛、発行書肆、③『修身学』版東生亀次郎、諸国・三府書肆、④『啓蒙知恵はじめ』発兌丸屋正五郎、西京・名古屋・（諸国）・東京書林

明治7年①『近世女大学』版和泉屋庄次郎、（売弘）、②『略解古事記』発兌東京和泉屋庄次郎・京都永田調兵衛、東京・各国書林、③『導歌地学の枝折再版』発兌鈴木喜右衛門・高木和助、西京・大阪・東京・諸国書林、④『開化の本初編』発行書林稲田佐兵衛・村上勘兵衛出店、（売弘）

明治8年①『博物誌一』初兌江島喜兵衛、万笈閣製本専売書屋、②『小学色図解』発兌江島喜兵衛、万笈閣製本専売書屋、③『小学読本卷五』発行稲田佐兵衛、諸国売弘書林、④『日本物産字引』発兌北畠茂兵衛・山中市兵衛・稲田佐兵衛、売弘

明治9年①『農家必携』出版人江島喜兵衛、万笈閣製本専売書屋、②『明治新刻国史略』出版人東生亀治郎、諸国・東京発行書肆、③『開化必要大全諸証文例』版東生亀治郎、諸国・三府発行書肆、④『改正字林玉篇』発兌木村文三郎・水野慶治郎、各国・東京書林、⑤『改正日本地誌略字引卷之三』出版人内田弥兵衛・後藤忠七、(諸国)・東京書肆、⑥『呂晚邨選定評唐宋八大家文読本十』発行稲田佐兵衛・牧野吉兵衛、売弘書林、⑦『増補点註国史略卷之五』発兌山中市兵衛、東京・各国書林、⑧『袖珍陸軍省日本略史字引』発兌山中市兵衛、東京・各国書林、⑨『明倫範論朋友之部』発兌穴山篤太郎、発行書肆、⑩『漢訳伊蘇普譚』出版人青山清吉、発行書林

明治10年①『新撰名家詩抄』版江島喜兵衛、万笈閣製本専売書屋、②『西南太平記三編』発兌江島喜兵衛、万笈閣製本専売書屋、③『明治新刻元明清史略五』出版人東生亀治郎、諸国・三府発行書肆、④『文体明弁纂要』発兌原亮三郎・山中市兵衛・東生亀治郎、東京・各国書林、⑤『開化詩語碎金』出版人高木和助、東京・(各国)書林、⑥『開化漢語用文』出版人内田弥兵衛、三府諸県書肆、⑦『万国指標十八史略標註七』発兌稲田佐兵衛・稲田源吉・稲田政吉・稲田佐吉、東京・諸国書林、⑧『銅板開化玉篇』出版人辻岡文助、(売弘)

大阪本屋

明治2年『兵庫港図』発兌小嶋屋伊兵衛、(売弘)

明治3年①『本教初学』発兌秋田屋太右衛門、(売弘)、②『古語拾遺正訓』発行所秋田屋太右衛門、(売弘)

明治5年①『四民教諭』発兌秋田屋太右衛門、(売弘)、②『広益正字通再版』板秋田屋市兵衛、(売弘)、③『三教捷解惶根草』梓岡田茂兵衛、大日本弘通書肆、④『郡名産物日本地理往来』発兌梶田喜蔵、弘通所松村九兵衛・書林会社・敦賀屋真助、売弘、⑤『漢語訳解普通用文章』発兌大野木市兵衛、(売弘)

明治6年①『文明開化初編』蔵版柳原喜兵衛、諸国弘通書肆、②『習字はじめ二編』梓岡田茂兵衛、大日本弘通書肆、③『皇国産物往来』蔵梓大阪前川善兵衛・京都遠藤平左衛門、諸国弘通書肆、④『三則童論目安』版元大野木市兵衛・山本政治郎、(売弘)、⑤『啓蒙健全のさとし』梓田中太右衛門、三府諸県発行書肆

明治7年①『教義要宗』発行松村九兵衛、諸国弘通書肆、②『単語五千字』版大阪柳原喜兵衛・東京岡田文助、諸国弘通書肆、③『漢語訳解普通用文章再版』蔵梓大野木市兵衛、諸国発兌書肆、④『童蒙教諭説教心のかなめ』梓北尾兎三郎、阪府下書肆・諸国弘通書肆、⑤『日本地誌略卷之一』版中川勘助、書肆、⑥『民法大意』発兌前川善兵衛、(売弘)、⑦『説教初学栞』版元柳原喜兵衛、諸国弘通書肆、⑧『教学講究廿八題略解十一説之部』弘通書肆新惣三郎・田中太右衛門・真部武助、諸国弘通書肆

明治8年①『孟子後藤点四』出版人田中太右衛門、書肆、②『易道初学』出版人岡田茂兵衛、発兌松村九兵衛、諸国発行書肆、③『小学日本略史問答』出版人松村九兵衛・田中太右衛門・此村庄助、諸国弘通書肆、④『小学作文階梯卷之一付録手紙之文』出版人浅井吉兵衛、発売書肆

明治10年①『新撰画引大全』出版人此村庄助、大阪・東京発行書林・西京・(各国) 売弘書林、②『高青邱詩抄』出版人山本重助、発兌書肆

京都本屋

明治5年『大統歌俗解』発行北村四郎兵衛、発弘所

明治6年①『説教道話続編』版辻本仁兵衛・福井孝助・松井栄助・田中治兵衛・福井源治郎、諸国弘通書肆、②『神道五部書倭姫命世記』版永田調兵衛、諸国弘通書林、③『進道初門』梓永田調兵衛、諸国弘通書林、④『農商必用童蒙開化字訓』版今井喜兵衛、諸国発行所、⑤『商法必携開化用文』発兌吉田勘兵衛・福井孝助、京都・東京・大阪・諸国書林、⑥『皇国産物往来』梓京都遠藤平左衛門・大阪前川善兵衛、諸国弘通書肆

明治7年①『国史略質問録』梓村上勘兵衛・大谷仁兵衛・杉本甚助・藤井卯兵衛・藤井孫兵衛、諸国弘通書肆、②『先代旧事本紀』蔵版永田調兵衛、諸国弘通書林、③『略解古事記』発兌京都永田調兵衛・東京和泉屋庄次郎、東京・(各国) 書林、④『葬祭一家例』発兌福井孝助、(売弘)、⑤『国史略訓蒙』発兌菱屋孫兵衛・銭屋惣四郎、諸国弘通書肆

明治8年①『小学入門便覧』梓田中治兵衛、書林、②『十六題大旨』梓京都隅長真助・彦根小川九平、売弘書籍舗、③『十六題講解仏法通論之部』発兌河島九右衛門、大日本書林、④『説教講究十七兼題解』発兌佐々木惣四郎、(売弘)

明治9年①『普通案文』梓風月ひて・川勝徳次郎、諸国発行書肆、②『普通画引玉篇大全』発兌書肆神先宗八、諸国弘通書肆

明治10年①『日本政記割記』出版人藤谷伊兵衛、発兌人川勝徳治郎、売弘、②『女学必用私用文』出版人京都村上勘兵衛・杉本甚助・田中治兵衛・亀岡内藤半七、売弘

(16) 明治初年は行政区画の変更が頻繁で間違防止のため「郡区町村編成法」に従い記載した。

(17) 日本図書館協会分類委員会編『日本十進分類法 新訂10版』日本図書館協会、2014。

(18) 『教義要宗』(松村九兵衛、明7刊)「諸国弘通書肆」中に中国広東麦梅生の記載がある。

(19) 調査は家蔵本を中心に行ったので網羅性に欠ける面があるのは否めない。又売り本の分野により販売地域や取次個所を操作するなどの戦略意図も加わったろうから、漏れ無く地方取次本屋を拾い得ているとは思わないが、大方の本屋は収録し得たと考えている。

(20) 注(10) 参照。江戸期の段階で三都と地方本屋を結ぶ配本システムが完全に機能していたと明確に指摘する論文は現在のところ存在していない。しかし、明治初年の例からみてもこうしたシステム